

関税・外国為替等審議会 外為分科会

決済インフラの国際比較と 本邦金融市場活性化の課題

平成27年5月18日

SWIFT理事
三菱東京UFJ銀行 執行役員
トランザクションバンキング部長
石垣 夢作

目次

1. 決済インフラ整備を巡る市場間競争
 - ①資金決済
 - ②証券決済
 - ③中国・香港の最近の動向
 - ④欧州TARGET2の動向
 - ⑤CSD-RTGS Linkage
 - ⑥金融制裁(米国) – 外交・安全保障の一手段として
2. 決済ビジネスを巡る国際間競争(民間銀行等)
3. 決済の観点から見た、円・その他の通貨
(ドル、人民元、ユーロ、アジア現地通貨等)利用拡大のインプリケーション
 - ①円の利用拡大
 - ②人民元の利用拡大
4. 日本がとりうる選択肢・政策とその方向性
5. 日本企業の外債発行実績

1. 決済インフラ整備をめぐる市場間競争

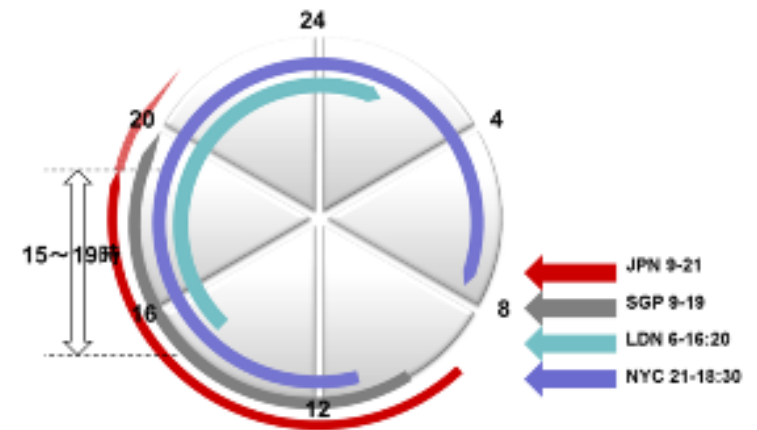
① 決済インフラ各国比較(資金決済)

各国主要決済システム比較(外為決済)

	ニューヨーク	ロンドン	シンガポール	香港	シドニー	上海	日本	欧州
決済インフラ名	FedWire	CHAPS	MEPS+(IFT)	CHATS	RITS	CNAPS(HVPS)	BOJ-NET	TARGET
稼働開始年	1987	1984	1998	1996	1998	2005	1988	1999
運営母体	中銀	中銀	中銀	HKMA、香港銀行協会	中銀	中銀	中銀	中銀
システム運用者	中銀	CHAPS Co., Ltd.	中銀	HKICL	中銀	CNCC (China National Clearing Center)	中銀	中銀
取引件数(千件/年)	135,023	36,521	5,110	5,356	8,396	595,487	12,412	92,590
取引金額(USD Bn/年)	884,552	96,275	10,371	17,452	39,175	326,287	291,496	534,562
稼働時間【時間数】	21:00(前日)-18:30【19.5】	6:00-16:20【10.3】	9:00-19:00【10.0】	8:30-18:30(HKD)【10.0】	7:30-22:00【15.5】	8:30-17:00(21:00への延長検討中)【8.5/12.5】	■ 9:00-19:00 ■ 8:30-19:00(2015/10/13) ■ 8:30-21:00(2016/2/14)【10.0/10.5/12.5】	7:00-18:00【11.0】
使用言語	英語	英語	英語	英語	英語	中国語	日本語	英語
対象通貨	米ドル	英国ポンド	シンガポール・ドル	香港ドル、米ドル、ユーロ、人民元	豪ドル	人民元	日本円	ユーロ
決済方法	RTGS	RTGS	RTGS	RTGS	RTGS	RTGS	RTGS	RTGS
決済銀行	中銀	中銀	中銀	中銀(HKD)	中銀	中銀	中銀	中銀
参加者数	6,930	21	64	159(HKD)	62	1,724	555	1,003
システム仕様	独自回線	SWIFT Y-copy	SWIFT Y-copy	SWIFT Y-copy	SWIFT Y-copy	独自回線	独自回線	SWIFT Y-copy
電文フォーマット	独自フォーマット	SWIFT	SWIFT	SWIFT	SWIFT	ISO20022/XML	固有フォーマット ISO20022/XML(2015.10)	SWIFT ISO20022/XML(2017.11)
流動性補完の仕組み	O/D Net Debit Capを設定(無担保有利子)FRBの承認により、有担保Cap上限引き上げ可	Repo CRESTとのリアルタイムDVP	Repo MAS提供のIntraday Liquidity Facilityを利用。リアルタイムで調達可能	Repo(HKD) リアルタイムで調達可能	Repo	TAF? 制度整備は遅れている。実質的にはT+0の市場調達、或いは他行とのコミラインにて調達	O/D	Repo
年会費、等	参加費:1.1千ドル 接続費:243千ドル	一時金として、606千ポンド(株保有のため)	7.5千SGドル~16千SGドル	(HKD)5.1千HKドル	6千豪ドル	無し	接続費: 5.8-8.6百万円	Option AとBが存在 A:1.8千ユーロ B:22.5千ユーロ
一件当りの費用	0.030ドル~0.146ドル	0.105ペンス	1.45SGドル	(HKD)6.742~8.989HKドル	0.60豪ドル	5.5元	60円	A:0.80ユーロ(定額) B:0.125~0.60ユーロ(従量)
(円換算)	3.6~17.5円	18.4円	130円	(HKD)101~135円	54円	105円	60円	A:104円 B:16.3~78円

① 決済インフラ各国比較(資金決済)(続き)

RTGS(日銀ネット)	
稼働時間	<p>標準的なレベル</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 新日銀ネット後は他国比長時間化 ■ 主要決済インフラとの同時稼働時間は日本時間15時～19時
電文書式	<p>本年10月より全面的に国際標準書式ISO20022/XMLを採用</p>
手数料	<p>標準的なレベル</p>
通信回線が独自仕様	<p>米国、中国も独自仕様</p>
日中流動性の補完スキーム	<p>他市場は、大多数がレポ方式でリアルタイムの流動性調達が可能</p>
使用言語	<p>日本語(英語でないのは中国のみ)</p>
海外への情報発信	<p>英語資料の拡充が課題</p>



① 決済インフラ各国比較(資金決済)(続き)

外為システム (外為円)

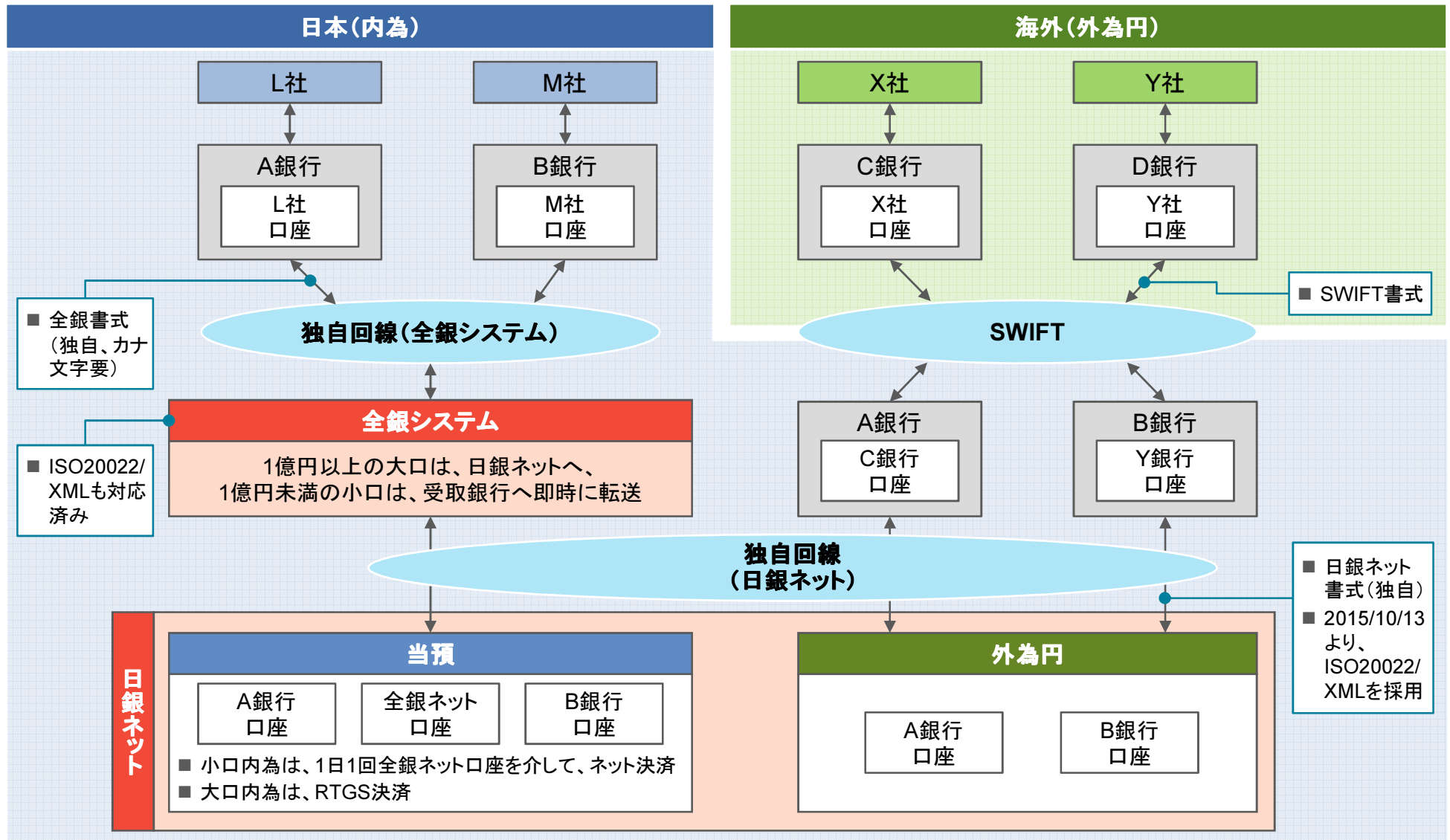
- コアタイムが14時までと短い(米国CHIPSは17時まで、欧州EURO1は16時まで、制度参加者との顧客決済が自由に可能)
システムの的にはコアタイム外でも日銀ネット稼動時間中は決済可能だが、民間銀行の対応は任意

内為システム (全銀システム)

- 当日即時決済(受取人口座への即時入金)や、送金実行時の受取人口座自動確認を実現
- 通信回線、電文書式は独自仕様(電文書式はISO20022/XMLも処理能力あり)
- 言語は、カナ文字が必須(但し、他国でも内為システムは現地語が標準的)
- ネット決済が一日一回(他国は一日数回が主流)
- 2018年中の24時間365日化を予定(個別行の参加は任意)

① 決済インフラ各国比較(資金決済)(続き)

外国為替決済フロー



② 決済インフラ各国比較(証券決済)

各国主要決済システム比較(証券決済)

	東京	ロンドン	ニューヨーク	シンガポール	香港	シドニー	上海
振替機関	JASDEC (ほふり)	Euroclear UK & Ireland	DTC	CDP	HKSCC	ASX Settlement	CSDC
取引件数 (千件/Day)	2,614	1,001	6,106	NA	835	709	6,493
取引金額 (百万US\$/Day)	19,855	9,049	58,660	796	5,874	2,780	24,711
稼働時間	■ 9:00-11:30 ■ 12:30-15:00	■ 8:00-16:30	■ 9:30-16:00 (US-EST) ■ 9:00-17:00 (Europe-CET)	■ 9:00-17:00	■ 9:30-12:00 (一部指定銘柄のみ 12:00-13:00) ■ 13:00-16:00	■ 10:00-16:00 (Normal Trading)	■ 9:30-11:30 ■ 13:00-15:00
使用言語	日本語	英語	英語	英語	英語	英語	中国語
決済期間	T+3	T+2	T+3 (T+2検討中)	T+3 (2016年末からT+2 予定)	T+2	T+3 (2016年3月からT+2)	T+1
参加者数	95	NA	NA	3,975(2013年時点)	543(2013年時点)	575(2013年時点)	NA
通貨	YEN	GBP, EUR	USD	SGD, USD	HKD, EUR, USD, AUD, NZD, KRW, RMB	AUD	RMB
決済方式	DVP	DVP	DVP	DVP	DVP	DVP	DVP
決済モデル (取引所取引)	BISモデル1	BISモデル1	BISモデル1	BISモデル2	BISモデル2	BISモデル1	BISモデル2
券面の有無	無券面	券面有り	券面有り	無券面	無券面	無券面	無券面
システム仕様	独自回線+SWIFT	SWIFT	独自回線	独自回線	独自回線	独自回線	独自回線
フォーマット	■ ISO15022 ■ ISO20022 (SWIFT)	SWIFT	■ ISO20022 ■ ISO15022	■ ISO20022 ■ ISO15022	ISO15022	ISO15022	ISO15022

(出所)WFEの2014年統計データ

②決済インフラ各国比較(証券決済)(続き)

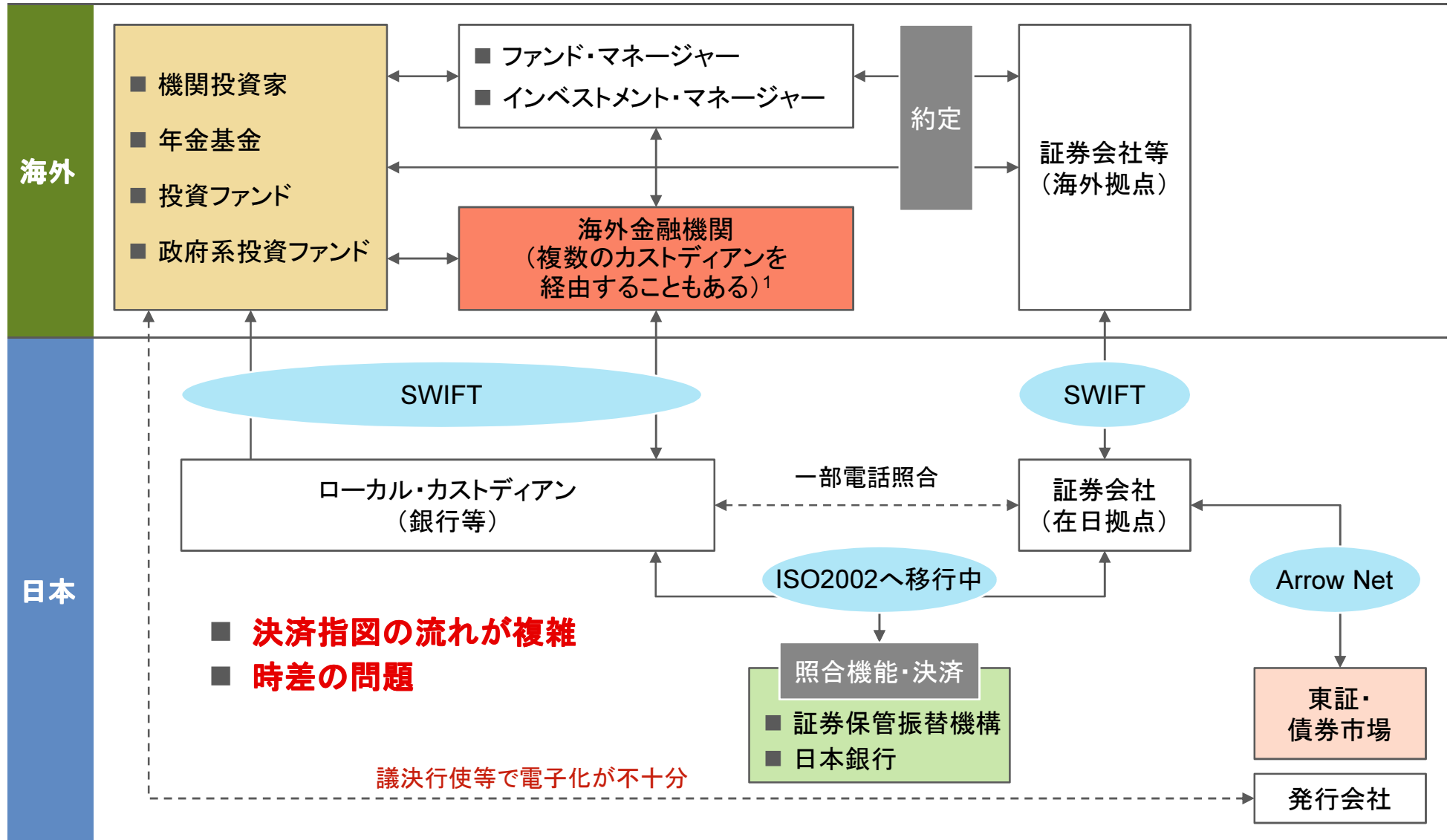
稼働時間	<ul style="list-style-type: none">■ 東証の稼働時間はNY、ロンドン、シンガポール市場に比べ短い(売買取引)■ 日銀ネットは稼働時間が21時迄延長予定(2016年2月)(国債)■ ほふりの照合・振替時間延長も要検討
決済期間	<ul style="list-style-type: none">■ 国債: 米国、英国はT+1実施済。2017年以降に日本も導入見込■ 株式: 欧州は昨年10月にT+2移行済、SGX、ASXも2016年にT+2へ、米国もT+2の移行を検討中
電文書式	<ul style="list-style-type: none">■ ISO20022化が進み、主要国でも先頭グループ■ ほふりは2014年1月に、日銀ネットは2015年10月にISO20022を導入予定
海外投資家の 議決権行使利便性	<ul style="list-style-type: none">■ 「議決権電子行使プラットフォーム」の利用 (現在、上場会社約3,500社中利用は約520社)

②決済インフラ各国比較(証券決済)(続き)

証券税制関連	<ul style="list-style-type: none">■ 2016年の税制改正で多くの課題は克服<ul style="list-style-type: none">● 債券利子の所有期間管理廃止(グローバル標準化達成)● 日銀、ほふりでの口座区分の簡素化(振替処理削減)● 利払前の振替停止期間の短縮化
海外金融機関の口座管理機関関連手続き	<ul style="list-style-type: none">■ 金融庁、日銀、ほふり、国税庁への資格申請が必要で、複雑で時間を要する■ 連絡者の変更届等、海外に馴染みのない届が求められる
多通貨証券DVP決済	<ul style="list-style-type: none">■ 多通貨決済は未実現■ 日系企業の外貨建債券発行ニーズと日系機関投資家の外貨建債券購入ニーズを東京市場で満たすことによるユーロ市場からのシフトの可能性

②決済インフラ各国比較(証券決済)(続き)

証券決済フロー



③中国(RMB – クリアリングバンク、CIPS)、香港(多通貨決済)の最近の動向

<p>人民元国際化 (クリアリングバンクの 拡大)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2007年に香港でオフショアクリアリングが開始された後、下記の通り、11ヶ国・地域にクリアリングバンクを拡大中 <ul style="list-style-type: none"> ● 香港、マカオ、台湾、韓国、シンガポール、英国、ドイツ、フランス、ルクセンブルク、マレーシア、カナダ
<p>CIPS (China International Payment System) の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2012年4月、PBOCは新たな人民元国際決済システムCIPSの構想を公表 ■ 2015年1月の現地報道によれば、2015年10月以降にCIPSが稼働予定。当初参加メンバーは、中資系12行、外資系8行(日系無し)との情報あり ■ 特徴は、①20:30までの長い稼働時間、②中文(クロスボーダー電文)と英文(SWIFT MT)間の文字変換対応、③RTGSとハイブリッド(連続ネット清算)の選択可 ■ PBOCへの決済口座開設と直接参加は、国内限定となる見込み
<p>香港CHATSシステムの 動向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多通貨決済システムとして、香港ドルに加え、米ドル、ユーロ、人民元のRTGS決済を実現 ■ マレーシア、インドネシアに加え、2014年7月にはタイのRTGSシステムとの相互接続により、米ドルと各国通貨との同時決済(PvP)を実現

③中国(RMB – クリアリングバンク、CIPS)、香港(多通貨決済)の最近の動向(続き)

香港の多通貨決済システムの概要(証券決済)

		HKD RTGS	USD RTGS	Euro RTGS	RMB RTGS
Launch Date		Dec 1996	Aug 2000	Apr 2003	Jun 2007 ¹
Settlement Institution		HKMA	HSBC	Standard Chartered	Bank of China (HK)
Membership Structure		Single-tier	Two-tier	Two-tier	Two-tier
Functions	RTGS Payments	Yes	Yes	Yes	Yes
	PvP	USD/HKD, Euro/HKD, RMB/HKD	USD/HKD, USD/Euro, USD/RMB, USD/MYR, USD/IDR	Euro/HKD, Euro/USD, Euro/RMB	RMB/HKD, USD/RMB, Euro/RMB
	DvP for Debt Securities	Yes	Yes	Yes	Yes
	DvP for Equities	Yes	Yes	No	Yes
	Bulk Settlement	Yes (e.g. cheque, credit card)	Yes (e.g. cheque, credit card)	No	Yes (e.g. cheque)
Credit Facilities	Intraday Repo	Yes	Yes	Yes	Yes ²
	Intraday Overdraft	No	Yes	Yes	No
	Overnight Repo	Yes	Yes	Yes	Yes ²
	Overnight Overdraft	No	Yes	Yes	No

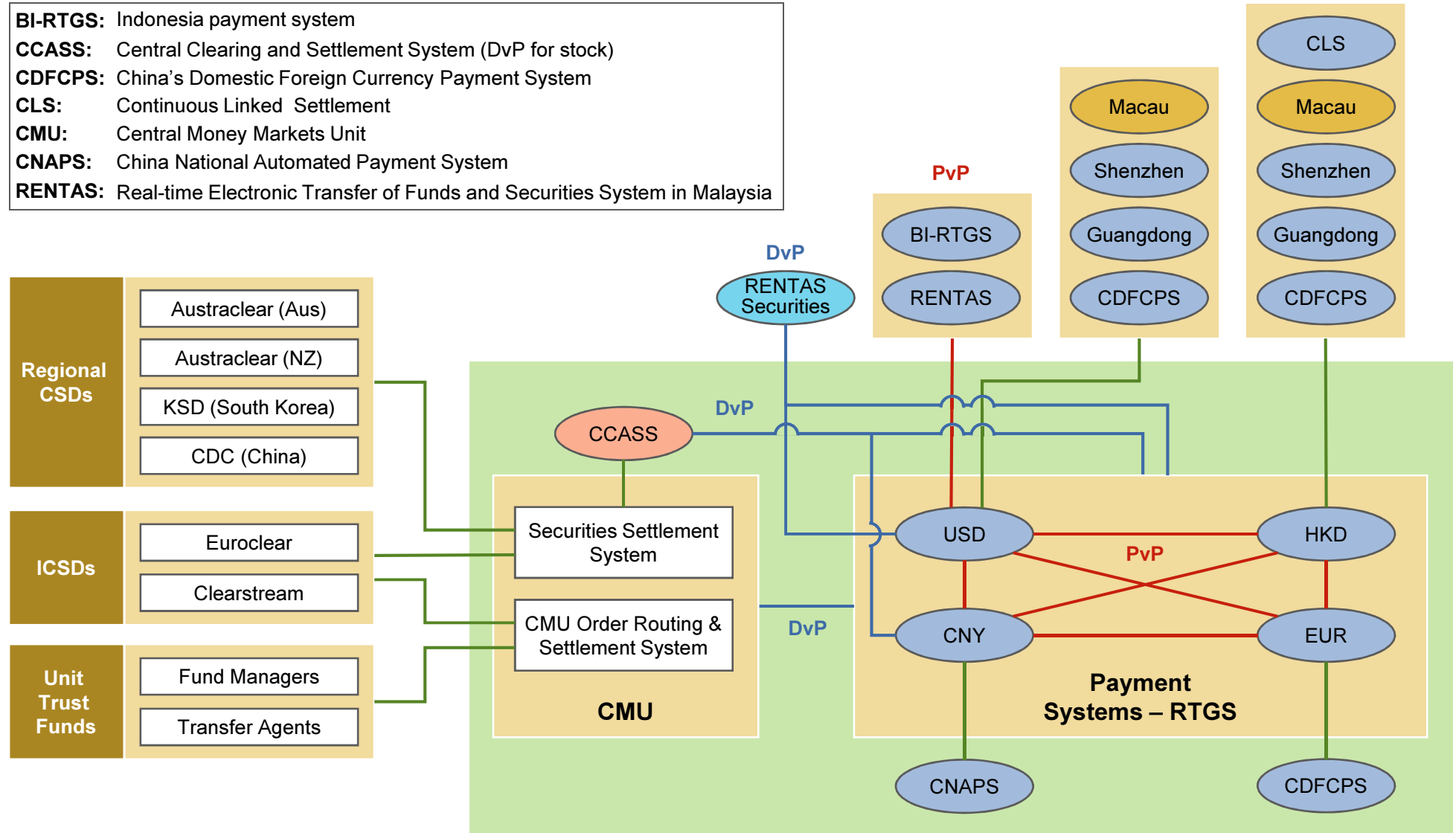
(出所)HKMA資料

(注) 1. upgraded from RMB Settlement System launched in Mar 2006
2. launched on 21 Feb 2011

③中国(RMB – クリアリングバンク、CIPS)、香港(多通貨決済)の最近の動向(続き)

香港の多通貨証券DVP決済システム

BI-RTGS: Indonesia payment system
CCASS: Central Clearing and Settlement System (DvP for stock)
CDFCPS: China's Domestic Foreign Currency Payment System
CLS: Continuous Linked Settlement
CMU: Central Money Markets Unit
CNAPS: China National Automated Payment System
RENTAS: Real-time Electronic Transfer of Funds and Securities System in Malaysia



(出所)HKMA資料

④欧州TARGET2の動向

TARGET2

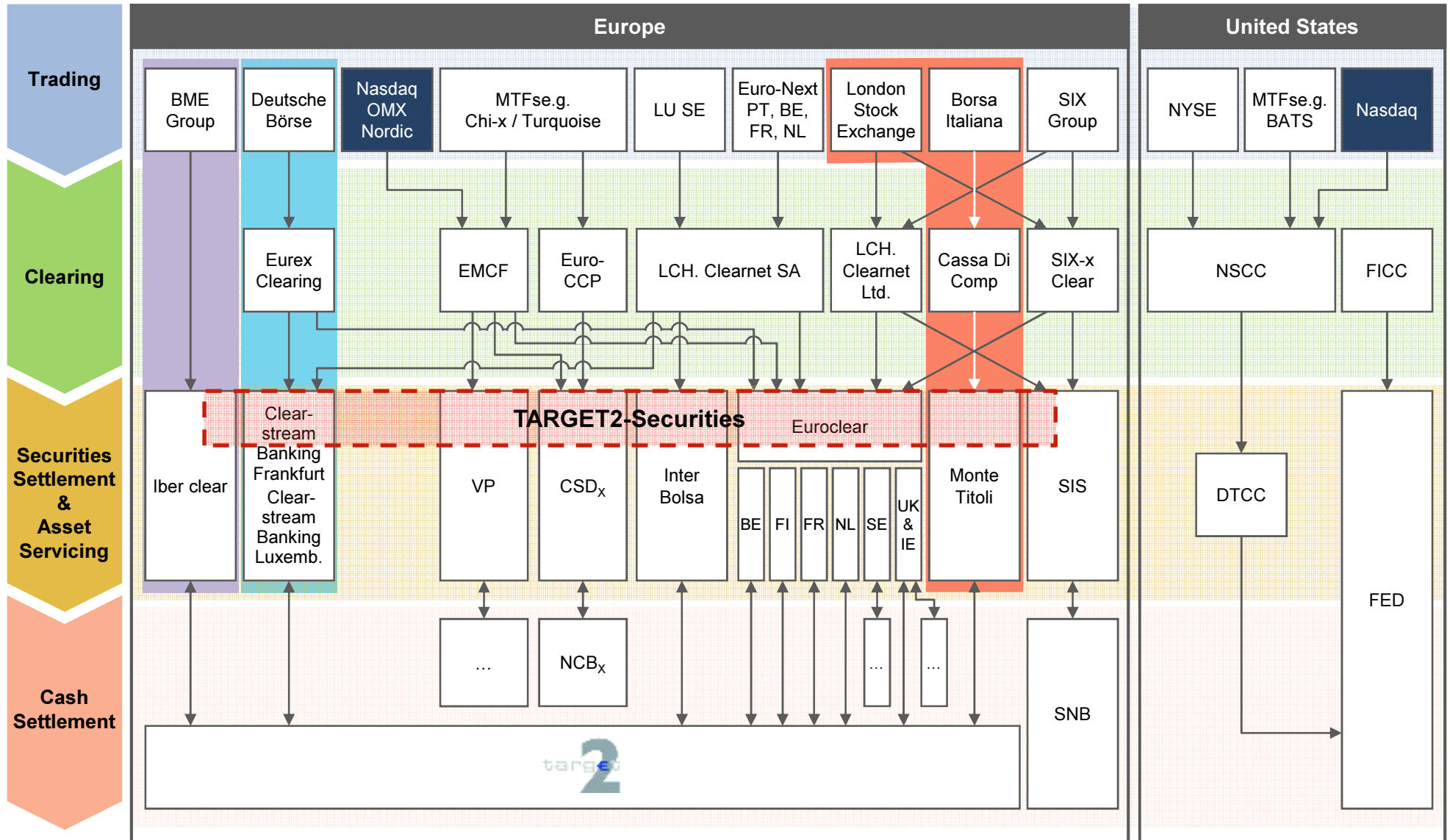
- 欧州中央銀行が運営する通貨ユーロの即時グロス決済(RTGS)システム
- 2008年5月に全面稼働開始(単一基盤上で稼働)
- EU内24ヶ国の中銀を通じて、1,003の市中銀行が直接参加
- 83の周辺システム(大口、小口、為替・資金、証券、デリバ、等)の資金尻を決済
- 2017年11月に、新国際標準書式ISO20022/XMLに一斉移行を予定。現在は、現行のSWIFT FIN書式からISO20022/XMLへの書式変換ルールを策定中

TARGET2-Securities

- 欧州中央銀行が運営を予定している一元的な証券決済サービスを提供するインフラ
- 2015年6月22日稼働見込み。2017年2月迄に4回に分けて24のCSD(証券振替機関)が参加する。将来的には、EUR以外のデンマークCSDとクローネ建ての証券決済も行う予定
- 1件0.15EURの格安手数料でのサービス提供し、欧州証券市場統合の触媒機能を目指す(但し、税制の共通化は多難)
- 通信メッセージはISO20022(MX)のみ。SWIFTが全体の通信の8割程度を占めると予想

④欧州TARGET2の動向(続き)

欧州中銀のクロスボーダー決済(TARGET2-Securities)イメージ図



⑤CSD-RTGS Linkage

中銀等のクロスボーダーリンク

CSD-RTGS Linkage

- アジア通貨の調達利便性向上やアジアでのJGBの流通向上を目指し、ADB主導で、中銀のRTGS+振替機関であるCSDのリンクが検討されている
- 将来的には、米国 FedやECBとのLinkageが期待される

Road Map for Establishing a Regional Settlement Intermediary in ASEAN+3

Develop Standard Message Flows and Items



- Specifying essential user requirements

Develop CSD-RTGS Linkages



- Defining detailed user requirements, design, coding, and testing

Implement CSD-RTGS Linkages



- Starting production operation of CSD-RTGS linkages

Implement Integrated Solution



- Developing a central hub and connecting each CSD and RTGS system with the hub

(出所)ADB資料

⑥金融制裁(米国) – 外交・安全保障の一手段として

米国による大手金融機関に対する主な制裁金等¹

制裁対象国に対する不正送金等			ロンドン銀行間取引金利(LIBOR)等の不正操作			住宅ローン担保証券(RMBS)の不正販売等			外為指標の不正操作		
銀行名	発表時期	金額	銀行名	発表時期	金額	銀行名	発表時期	金額	銀行名	発表時期	金額
三菱東京UFJ	2014年11月	3.2億ドル (NY州)	ロイズ	2014年7月	1.9億ドル (商品先物取引委員会)	バンクオブアメリカ (バンカメ)	2014年8月	167億ドル (司法省)	シティ、HSBC、 JPモルガン、 RSB、UBS	2014年11月	24億ドル (商品先物取引委員会)
コメルツ	2014年9月	6.5億ドル (司法省)	ラボバンク	2013年10月	8億ドル (商品先物取引委員会)	モルガン・スタンレー	2014年7月	2.8億ドル (SEC)			
スタンダード・チャータード	2014年8月	3億ドル (NY州)	RBS	2013年2月	4.8億ドル (商品先物取引委員会)	シティグループ	2014年7月	70億ドル (司法省)			
BNPパリバ	2014年7月	90億ドル (司法省)	UBS	2012年12月	12億ドル (商品先物取引委員会)	JPモルガン・チェース	2013年11月	130億ドル (司法省)			
クレディ・スイス	2014年5月	26億ドル (司法省)	パークレイズ	2012年6月	3.6億ドル (商品先物取引委員会)	バンカメ、シティ、 ウェルズ・ファーゴ、 JPモルガン	2012年2月	246億ドル (司法省)			
三菱東京UFJ	2013年6月	2.5億ドル (NY州)									
三菱東京UFJ	2012年12月	860万ドル (財務省)									
香港上海	2012年12月	19億ドル (司法省)									
スタンダード・チャータード	2012年12月	3.3億ドル (司法省)									

(出所)各種報道



2. 決済ビジネスを巡る国際間競争 (民間銀行等)

決済ビジネスを巡る国際間競争(民間銀行等)

民間銀行間競争 Citi、HSBC、SCB、DB、邦銀メガ等

企業のグローバル化に伴うニーズ
(Cash Management Systemの高度化、フォーマットの標準化)

- グローバルネットワーク、システムをベースとしたグローバル・キャッシュマネージメント・サービス
 - グローバルプーリング、リージョナル(アジア・米州・欧州等)プーリング
 - アクチュアルプーリング、ノーショナルプーリング
 - グローバルに統一された操作性、グローバル(標準)フォーマット
 - ERPとの連携、ホスト2ホスト
 - 為替のネットティング、キャッシュフロー予測サービス

新興国での企業のビジネスの変化
(製造・輸出→国内販売)に伴うニーズの変化

- 地場ネットワーク、地場決済へのアクセス
 - Local CMS、給与振込、関税支払サービス etc
 - 資金回収、売掛金消し込みサービス etc

決済ビジネスを巡る国際間競争(民間銀行等)(続き)

新たな競争環境

e-commerce
(amazon.com、ebay 等)
の拡大、海外旅行・
移民等に伴う個人の
ニーズの変化

- Low value cross boarder決済
- Mobile決済
- International cash card

他業態の参入
(銀行規制の対象外で
低インフラコスト)

Western Union



Bit-coin



M-Pesa



決済ビジネスを巡る国際間競争(民間銀行等)(続き)

課題	
グローバルベースでの継続的なシステム投資、事務効率化	<ul style="list-style-type: none">■ グローバルプラットフォーム構築■ EOS、Version UP対応■ STP化、海外オペレーションセンター
顧客へのグローバル対応	<ul style="list-style-type: none">■ 内外一体運営、ローカル言語■ 24/365■ Follow the Sun
各国規制対応	<ul style="list-style-type: none">■ ローカルサーバー■ 認証システム(中国、インドネシア等)■ OFAC■ FATCA
BCP、サイバー攻撃への対応	<ul style="list-style-type: none">■ Disaster Recovery Site■ Dual Operation■ リスクベース認証等
イノベーション	<ul style="list-style-type: none">■ ビッグデータ■ ロボティクス

3. 決済の観点から見た、円・その他の通貨 (ドル、人民元、ユーロ、アジア現地通貨等) 利用拡大のインプリケーション

①円の利用拡大

本邦市場	■ 証券市場の活性化、円資産への投資拡大、円資産(JGB)の担保としての活用促進
本邦企業	■ 為替リスクの回避による経営の安定化、取引コストの削減
邦銀	■ 海外での円建与信(貸出)の増加、JGBの担保活用 <ul style="list-style-type: none">● 外貨流動性ポジションの改善→経営の安定、金融危機時のリスク耐性の強化● 海外での企業向資金供給力の向上● 海外での円クリアリングビジネスの可能性

②人民元の利用拡大

本邦市場	■ 円、円資産、本邦市場の相対的地位の低下
本邦企業	■ 為替リスクの分散、為替管理の難度上昇、取引コストの増加
邦銀	■ 人民元の流動性供給力をもつ中資系銀行の相対的地位向上、邦銀の相対的地位低下 ■ ドルとのリスク分散→米国経済制裁発動時の選択肢拡大? ■ 東京での人民元クリアリング・ビジネスの可能性

4. 日本がとりうる選択肢・政策とその方向性

日本がとりうる選択肢・政策とその方向性

他市場の優位点		
ニューヨーク	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語 ■ 経済規模 ■ 世界最大の証券市場 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 米ドル(基軸通貨、貿易決済通貨)のマザーマーケット
ロンドン	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語 ■ ユーロ・英ポンド ■ 欧州証券市場へのアクセス 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アジアと米州に跨るタイムゾーン ■ 自由な市場
上海	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済規模 ■ 上海株式市場の取引拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 政府による人民元の国際化戦略
シンガポール	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語 ■ 自由な市場 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 取引時間 ■ アジアの中での地理的優位性
香港	<ul style="list-style-type: none"> ■ 英語 ■ 自由な市場 ■ オフショア人民元決済 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中国本土市場へのアクセス ■ 多通貨DVP決済

日本がとりうる選択肢・政策とその方向性(続き)

東京市場の優位点	<ul style="list-style-type: none">■ 世界で最も早く開く主要市場、アジア時間帯■ 時価総額世界第2位の株式市場、アジア最大の国債(JGB)市場■ 日本の機関投資家の海外証券投資ニーズ(約10兆円/年)■ 日本企業のグローバル化、M&Aに伴う外貨建債券の発行ニーズ(約5兆円/年)
日本がとりうる選択肢	<ul style="list-style-type: none">■ 利便性向上による円証券市場の更なる活性化■ 日本を含むアジア企業の外債発行ニーズをバックとしたアジアの多通貨決済ハブ
必要なインフラ	<ul style="list-style-type: none">■ 香港(取引通貨、証券)、シンガポール(SGXの取引時間)との差異化■ レポ取引市場の充実■ 多通貨DVP、多通貨資金決済、中銀による外貨流動性供給スキーム

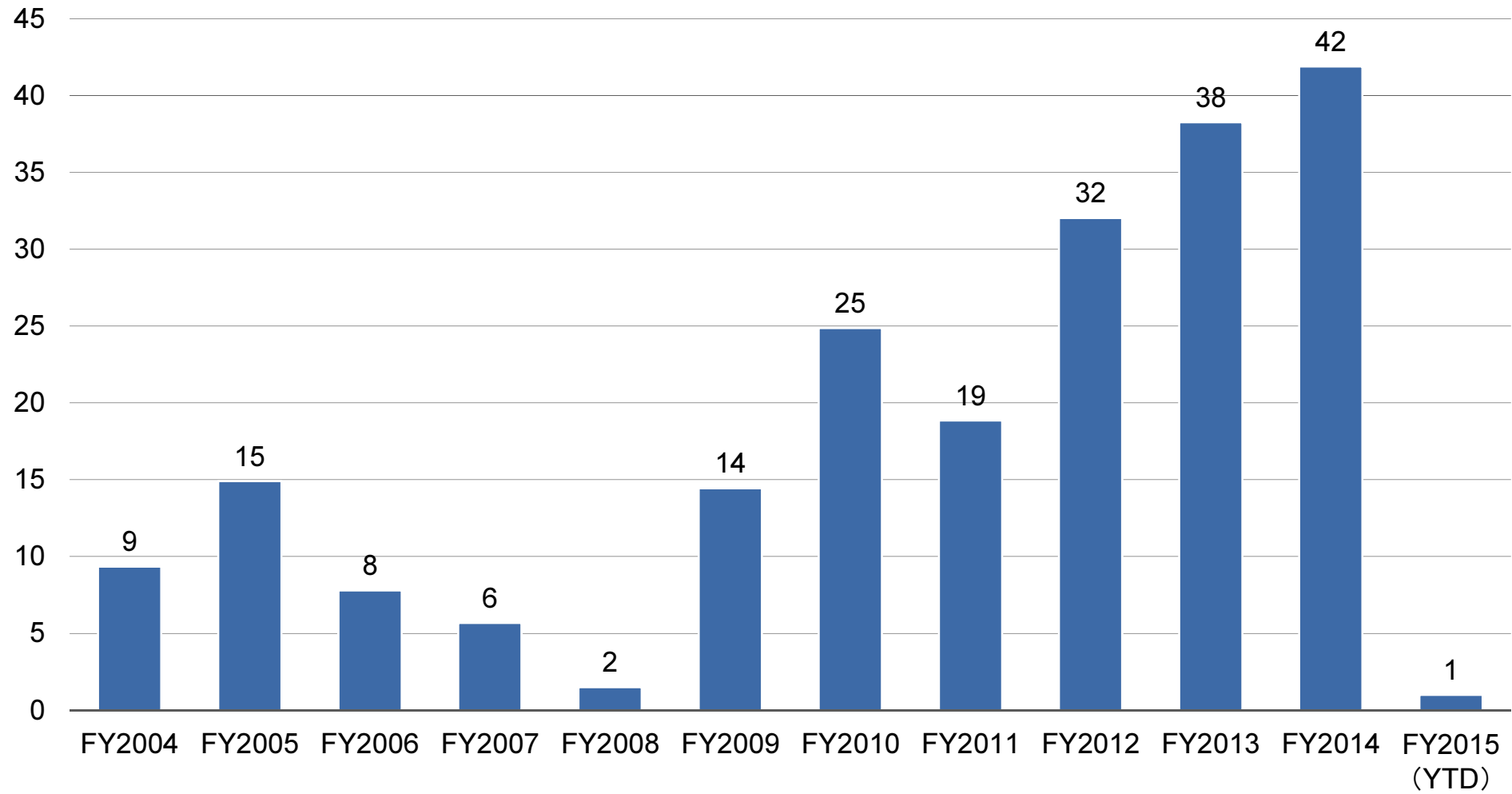
日本がとりうる選択肢・政策とその方向性(続き)

日本からの主体別対外証券投資動向(国際収支ベース)

(暦年)	対外証券投資 (合計)(億円)									
		一般政府	預金 取扱機関	その他部門	銀行等及び 信託銀行 (信託勘定)	金融商品 取引業者	生命保険	損害保険	投資信託 委託会社等	その他
2005	235,674	(351)	72,083	163,941	25,860	86,349	3,990	452	87,508	(40,217)
2006	96,890	(119)	(23,995)	121,005	7,090	71,637	(415)	(4,069)	88,792	(42,031)
2007	129,298	737	14,755	113,806	(11,449)	55,775	9,931	(1,181)	112,388	(51,659)
2008	139,782	147	6,656	132,980	71,032	69,032	2,221	(2,560)	15,720	(22,466)
2009	163,036	(158)	78,948	84,247	29,352	42,519	18,079	(4,430)	39,080	(40,353)
2010	258,341	124	106,198	152,019	32,425	61,994	39,659	(4,430)	49,466	(27,096)
2011	61,228	(672)	9,048	52,853	15,931	65,302	(1,630)	(4,375)	5,644	(28,020)
2012	146,968	227	88,414	58,327	6,809	64,335	40,818	(1,707)	(17,034)	(34,894)
2013	(60,687)	(872)	(29,743)	(30,071)	(33,409)	75,569	6,944	1,351	17,820	(98,346)
2014	121,218	(727)	(31,631)	153,575	36,679	103,107	41,244	(130)	47,896	(75,220)
2014/1	(26,063)	7	(28,420)	2,350	(2,583)	10,325	(2,736)	133	4,194	(6,984)
2014/2	(5,046)	(234)	(8,939)	4,126	(1,539)	7,794	733	329	2,353	(5,543)
2014/3	(18,065)	(318)	(15,231)	(2,516)	(3,988)	6,626	2,169	373	(80)	(7,616)
2014/4	9,421	(34)	(19,583)	29,039	4,670	12,334	10,367	(621)	6,002	(3,712)
2014/5	29,755	14	10,320	19,421	2,660	10,424	3,131	(132)	5,856	(2,517)
2014/6	31,621	(37)	16,461	15,197	2,145	3,073	7,083	58	6,977	(4,140)
2014/7	26,213	1	(4,888)	31,101	901	13,009	14,565	96	8,065	(5,536)
2014/8	23,584	(105)	3,671	20,017	10,668	7,502	3,580	153	3,668	(5,553)
2014/9	33,363	(110)	7,886	25,587	9,296	10,901	8,092	(79)	5,030	(7,655)
2014/10	12,171	(139)	(7,439)	19,749	8,212	6,803	1,670	(349)	8,430	(5,017)
2014/11	19,783	311	21,444	(1,972)	3,930	10,153	(630)	(292)	(6,479)	(8,654)
2014/12	(15,517)	(81)	(6,912)	(8,524)	2,306	4,162	(6,780)	200	3,880	(12,293)
2015/1	34,203	(62)	8,749	25,516	10,612	7,953	4,471	645	9,010	(7,174)
2015/2	34,111	(65)	9,375	24,801	10,912	7,914	1,541	276	12,145	(7,988)
2015/3	43,413	(270)	27,176	16,507	12,220	12,803	(5,116)	0	7,510	(10,910)

日本企業の外債発行実績

(USD Bn)



■ Non-Yen Japanese Corporate Bond Market Size



三菱東京UFJ銀行